

先取り！ 今度の東日本大会

山梨県須玉町 職員大会

木村佳司

2003年10月12日に東日本大会が山梨県須玉町で開催される。これを先取りする形で須玉町の町職員レク大会がここで開催された。

トータスと須玉町ががっつりコンビを組んだ取り組みと、素晴らしいトレインがそこにはあった。

あのトータスがやるぜ！

オリエンテERINGマガジン2003年4月号にて、須玉町と筆者木村との接触までのストーリーを公開した。その後、木村はオリエンテERINGを行ってくれそうな主管団体をいくつか当たって見たところ、NPO トータスが大会主管について前向きな返事があった。

ちょっと古参のオリエンテERING愛好家なら、トータスがどれほどアグレッシブな団体なのかご存知だろう。

南八ヶ岳を活動の場とするトータスにとって今回の須玉町からのお話はまさに「渡りに舟」。トントン拍子に話は進み、あっという間に2003年の東日本大会を開催することに決定した。

それだけではない、東日本大会の翌日もこのトレインを使用して10人リレー大会を行おうという壮大な計画も実施されるらしい。

地元須玉町のバックアップ

東日本大会に先立って、地元須玉町の町職員を対象としたレク大会が行われた。その種目のひとつとしてオリエンテERINGが行われた。場所は東日本大会予定地。須玉町の職員にとって、初めてのオリエンテERING経験でもあった。



スタート前の説明を受ける

6月21日の「みずがき高原」は最高のアウトドア日より。東京ではこの夏の最高気温を記録する真夏日だったらしい。

参加者は20名ほどの小規模なものだったが、須玉町からの参加者の皆さんは実に楽しそう。全国植樹祭跡地の広々とした芝生広場から一斉に森の中へと散って行った。

縮尺1:4,000の地図を使用したスコア0。狭い範囲に22個ものコントロールが置かれていたおかげで、初めての人にとっても飽きない、迷わないコース設定となっていて、あっという間に規定時間となった。

スであった。

このような初心者向けコースが東日本大会当日も登場するだろう。そして東日本大会の各年代別クラスでは地図をさらに拡張し、十分な広さで全国のオリエンティアを十分に満足させるコースが設定される予定である。



巨石は特殊記号で表記されるらしい



挑戦的なコントロール数に、思わず走り出す参加者



地元・須玉町の仕掛人、丸茂さん。
オリエンテERINGで須玉町の活性化。



東日本会場予定地。広々している。

巨大岩石がそびえるトレイン

岩山の「みずがき山」の山麓だけに、トレイン内には巨石が存在する。家よりも大きな岩をいくつも見かけた。

会場周辺の通行可能性は素晴らしく、6月なのに通れない場所はまずない。

トレインの中に耕作地などもなく、本当に森の中のトレインである。

それでいて会場周辺は全国植樹祭事業で作られた遊歩道や植樹用の小径、施設があり初心者などにも優しいコー

駐車場に頭を悩ませている

順風満帆で準備が進んでいる東日本大会だが400台収容の会場駐車場に工事が入りそうな雰囲気になってきた。もし駐車場が使えなくなれば大規模なパーク&ライドを実施せざるを得ない。アクセスはかなり不便になる。工事日程はどうなるか・・・大会関係者は頭を悩ませている。

周辺の宿泊能力もそう高くないので臨時キャンプ場も用意する予定だ。キャンプといっても施設併設なのでトイレは完璧、風呂も増富温泉の巨大入浴施設が利用できる。そこで東日本大会の後にパーティも計画されている。あとはみんなの参加を待つだけ。素晴らしいトレインを堪能してもらいたい。

(木村佳司)